

アズキ チャレンジ

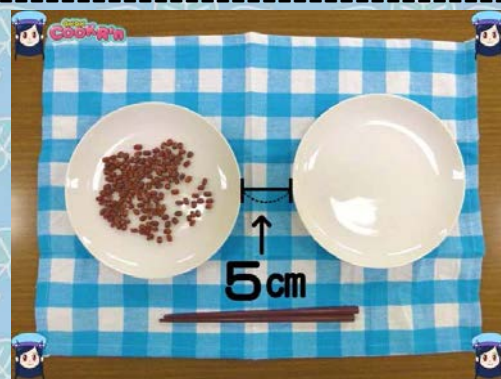
アズキチャレンジの「ルール」と「さつえいガイド」

〈ひつようなもの〉

- はし ●お皿2まい（大きさはじゆう） ●あずき（生のもの） ●動画をさつえいできるカメラ
- ストップウォッチなど時間をはかれるとけい ●テーブル（ひつようであればイスも）
- さつえいとタイムけいそくをしてくれる人

〈テーブルのじゅんび〉

テーブルにお皿2まいと、はしをならべる。
お皿の間はさいてい5センチメートルあける。
かたほうのお皿はカラに、もういっぽうのお皿には
あずきをいれておく。
じゅんびができたらチャレンジャーはいちにつく。



〈カメラのじゅんび〉

チャレンジャーと、りょうほうのお皿がうつるように、
カメラをかまえる。チャレンジちゅうはできるだけ
カメラをうごかさないうちゅういする
(さんきゃくがあればべんりです)。



〈さつえいかいし〉

さつえいをはじめたらまず、チャレンジャーはカメラに
「〇〇県（おすまいの都道府県）の××（名前）です！」
「もくひょうは▽個です！」と
じこしょうかい、もくひょうの個数を
げんきよくはっぴょう。



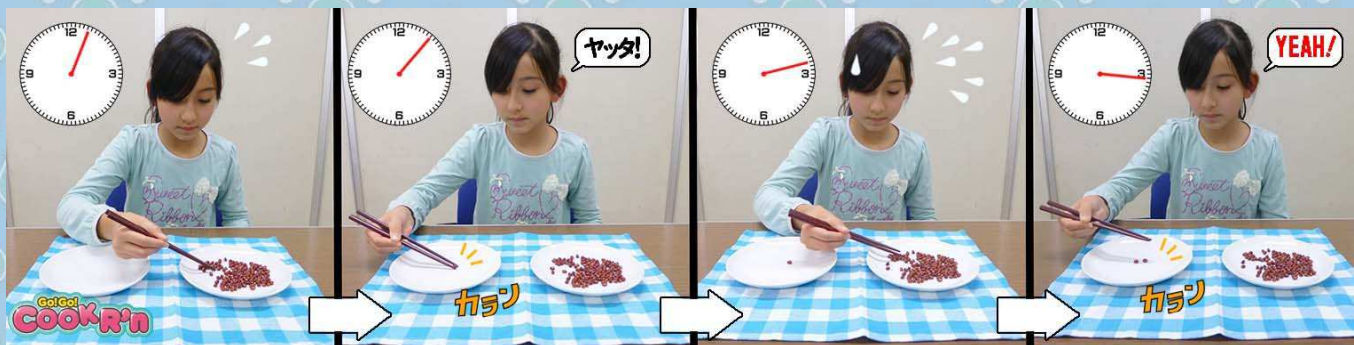
〈チャレンジかいし〉

かいしちよくぜん、ひざにりょうてをおく。

タイムをけいそくするひとの
「あずきチャレンジ、スタート！」
の、かけごえではしをとり
あずきをとなりのお皿にうつしはじめる。



〈チャレンジ中〉



〈チャレンジしゅうりょう〉

タイムをけいそくするひとは20秒だったら
「そこまで!」とこえをかける。
チャレンジャーはそこでストップ
(はしでつまんだままのあずきは記録にはくわえません)。



〈けっかはっぴょう〉

チャレンジャーははしをおいて、
はこんだあずきの数をかぞえます。
数をたしかめたらカメラにむかって
「けっかは〇個でした」とはっぴょう。
「むずかしかった」「よそより多くはこべた」など
ひとこと感想を言いながら手をふっておわり。



〈できれば…〉

チャレンジがおわったあと、カメラを動かして、
あずきの数がわかるようにお皿のえいぞうをとる。



いじょうです。

ばんぐみでのイチゴのきろくは3個、
アオイは1個、ハッサクは4個でした。
ナイスチャレンジはばんぐみでしようかいするかも…
みんなのえいぞうをどしどしおくらせてね!

番組でのチャレンジのようす

